

日本病院薬剤師会関東ブロック 第53回学術大会

講演要旨集

変革×継承 ~変えるべきこと、守るべきこと~

会期 2023年 8月26日(土)・27日(日)

会場 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

大会長 外山 聡 一般社団法人新潟県病院薬剤師会 会長
新潟大学医歯学総合病院 教授・薬剤部長



●主催：日本病院薬剤師会関東ブロック

●担当：一般社団法人新潟県病院薬剤師会

日本病院薬剤師会 関東ブロック第53回学術大会

講演要旨集

●大会テーマ●

変革×継承

～変えるべきこと、守るべきこと～

- 会 期 2023年 8月26日(土)・27日(日)
- 会 場 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター
- 会 長 外山 聡 一般社団法人新潟県病院薬剤師会 会長
新潟大学医歯学総合病院 教授・薬剤部長

- 主 催 日本病院薬剤師会関東ブロック
- 担 当 一般社団法人新潟県病院薬剤師会

開催概要

主催：日本病院薬剤師会関東ブロック
担当：公益社団法人新潟県病院薬剤師会
後援：新潟県、新潟市、公益社団法人新潟県病院薬剤師会

大会長：外山 聡(一般社団法人新潟県病院薬剤師会 会長/
新潟大学医歯学総合病院 教授・薬剤部長)

テーマ：変革×継承 ～変えるべきこと、守るべきこと～

会期：2023年8月26日(土)・27日(日)

会場：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター
〒950-0078 新潟市中央区万代島6-1

日本病院薬剤師会関東ブロック 第53回学術大会 事務局：
一般社団法人 新潟県病院薬剤師会

〒951-8520 新潟県新潟市中央区旭町通1番町754
(新潟大学医歯学総合病院 薬剤部内)
TEL：025-227-2791(直通) FAX：025-227-2791

日本病院薬剤師会関東ブロック 第53回学術大会 運営事務局：
株式会社 シンセンメディカルコミュニケーションズ内

〒950-0983 新潟県新潟市中央区神道寺1-6-14
TEL：025-278-7232 FAX：025-278-7285
E-mail：kanburo53@shinsen-mc.co.jp

「日本病院薬剤師会関東ブロック第53回学術大会」の 開催にあたって

日本病院薬剤師会関東ブロック第53回学術大会は、一般社団法人新潟県病院薬剤師会が担当させて頂くこととなりました。2023年(令和5年)8月26日(土)、27日(日)の2日間、朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンターに於いて、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症になったことを受け、完全現地開催で実施いたします。

第53回学術大会のテーマは『変革×継承 ～変えるべきこと、守るべきこと～』といたしました(「変革×継承」の読みは「変革と継承」です)。2023年は、2024年の医師の働き方改革の開始、2025年問題と呼ばれる超高齢社会への対応としての地域包括ケアシステムの構築を目前とした年です。どちらも非常に大きなハードルであり、これらに対応するため、タスク・シフティングやタスク・シェアリングの推進と病院薬剤師の余力確保のための機械化、ICTの活用、デジタル・トランスフォーメーションへの対応、薬剤師以外の者への業務移管や、病院の統廃合や病床数の削減、病床機能分化に伴う薬剤部門の組織・業務の見直し等を進めておられることでしょう。これらに加え、ワクチン・治療薬の供給を含むCOVID-19への対応や高額薬の登場と医薬品費の適正化の圧力等、病院薬剤師は様々な変革の波にさらされております。

しかし冷静に日々の働きを思い起こすと、5年前、10年前と変わっていない業務も多いと思われませんか。薬剤師の本質は、患者さんに個別最適化した薬物療法を安全・安心に提供することであり、変革の流れの中でも継承すべき業務が存在するはずです。ただ、変わっていない業務にも、従前通り漠然と続けていただけの変えるべき業務と、淘汰されず不可欠な守るべき業務があり、その見極めが重要で、変えるべきことを変えることで、変革への対応が進められると考えます。また、薬剤師の業務だけでなくマインドにも、変えるべきこと、守るべきことがあると思っております。

第53回学術大会では、これらを踏まえつつ、病院薬剤師を取り巻く諸課題について幅広く議論する機会を提供いたす所存です。多くの皆さまの参加を心からお待ち申し上げます。

日本病院薬剤師会関東ブロック第53回学術大会

大会長 外山 聡

一般社団法人新潟県病院薬剤師会 会長
新潟大学医歯学総合病院 教授・薬剤部長

日本病院薬剤師会関東ブロック第53回学術大会 組織委員会

大会長	外山 聡	新潟大学医歯学総合病院
副大会長	近藤 宏	厚生連長岡中央総合病院
	木村 宏之	県立がんセンター新潟病院
	酒井 和久	県立燕労災病院
組織委員	外山 聡	新潟県病院薬剤師会
	山田 裕之	神奈川県病院薬剤師会
	後藤 一美	東京都病院薬剤師会
	仲佐 啓詳	千葉県病院薬剤師会
	町田 充	埼玉県病院薬剤師会
	本間 真人	茨城県病院薬剤師会
	中丸 朗	栃木県病院薬剤師会
	原 佳津行	群馬県病院薬剤師会
	小林 茂久	山梨県病院薬剤師会
	内藤 隆文	長野県病院薬剤師会
実行委員長	竹野 敏彦	日本歯科大学新潟病院
副実行委員長	山田 宜和	県立リウマチセンター
	山本 剛	厚生連上越総合病院
	山本 修也	厚生連糸魚川総合病院
	宮川 哲也	上越地域医療センター病院
	田中 裕子	新潟市民病院
	島田 泉	新潟大学医歯学総合病院
監 事	内坪 誉歳	済生会新潟病院
	板倉 直史	桑名病院

関東ブロック各都県病院薬剤師会 会長

本間 真人 (茨 城)	中丸 朗 (栃 木)
原 佳津行 (群 馬)	町田 充 (埼 玉)
仲佐 啓詳 (千 葉)	山田 裕之 (神奈川)
後藤 一美 (東 京)	小林 茂久 (山 梨)
内藤 隆文 (長 野)	外山 聡 (新 潟)

目 次

大会日程	4
交通のご案内	6
会場のご案内	8
タイムスケジュール	10
学術大会ご案内	12
プログラム(指定演題)	20
プログラム(一般演題)	33
講演要旨	
日本病院薬剤師会会長講演	59
特別講演	61
教育講演	63
シンポジウム	71
スポンサードシンポジウム	135
ランチョンセミナー	137
一般演題(ポスター発表)	159
一般演題筆頭演者索引	261
協賛企業一覧	265

大会日程

2023年8月26日(土)

11:30～12:30

ランチョンセミナー1 (第1会場 4F マリンホール)
ランチョンセミナー2 (第2会場 2F スノーホール A)
ランチョンセミナー3 (第3会場 2F スノーホール B)
ランチョンセミナー4 (第4会場 2F 中会議室201)
ランチョンセミナー5 (第5会場 3F 中会議室301)

12:50～13:10

開会式 (第1会場 4F マリンホール)

13:10～13:45

日本病院薬剤師会会長講演 (第1会場 4F マリンホール)

14:10～15:40

教育講演1 (第1会場 4F マリンホール)

14:10～16:10

シンポジウム1 (第2会場 2F スノーホール A)
シンポジウム2 (第3会場 2F スノーホール B)
シンポジウム3 (第4会場 2F 中会議室201)
シンポジウム4 (第5会場 3F 中会議室301)
シンポジウム5 (第6会場 3F 中会議室302)
シンポジウム6 (第7会場 1F 展示ホール B)

11:00～18:00

大会企業展示 (展示会場: 1F 展示ホール B)
日本薬科機器協会展示 (展示会場: 1F 展示ホール B)
書籍展示 (展示会場: 1F 展示ホール B)

12:30～16:30

ポスター掲示: P26-〇〇〇 (ポスター会場: 1F 展示ホール B)

16:30～17:30

ポスター示説: P26-〇〇〇 (ポスター会場: 1F 展示ホール B)

18:00～

懇親会 (ホテル日航新潟 4F 朱鷺)

2023年8月27日(日)

9:15~10:15

教育講演2 (第1会場 4F マリンホール)

9:15~11:15

シンポジウム7 (第3会場 2F スノーホールB)

シンポジウム8 (第4会場 2F 中会議室201)

シンポジウム9 (第5会場 3F 中会議室301)

シンポジウム10 (第6会場 3F 中会議室302)

シンポジウム11 (第7会場 1F 展示ホールB)

10:15~11:15

教育講演4 (第2会場 2F スノーホールA)

10:25~11:25

特別講演 (第1会場 4F マリンホール)

11:40~12:40

ランチョンセミナー6 (第1会場 4F マリンホール)

ランチョンセミナー7 (第2会場 2F スノーホールA)

ランチョンセミナー8 (第3会場 2F スノーホールB)

ランチョンセミナー9 (第4会場 2F 中会議室201)

ランチョンセミナー10 (第5会場 3F 中会議室301)

ランチョンセミナー11 (第7会場 1F 展示ホールB)

12:55~13:55

教育講演3 (第1会場 4F マリンホール)

12:55~14:25

シンポジウム12 (第3会場 2F スノーホールB)

シンポジウム13 (第4会場 2F 中会議室201)

シンポジウム16 (第7会場 1F 展示ホールB)

12:55~14:55

スポンサードシンポジウム (第2会場 2F スノーホールA)

シンポジウム14 (第5会場 3F 中会議室301)

シンポジウム15 (第6会場 3F 中会議室302)

9:00~16:00

大会企業展示 (展示会場:1F 展示ホールB)

日本薬科機器協会展示 (展示会場:1F 展示ホールB)

書籍展示 (展示会場:1F 展示ホールB)

10:30~15:00

ポスター掲示:P27-〇〇〇 (ポスター会場:1F 展示ホールB)

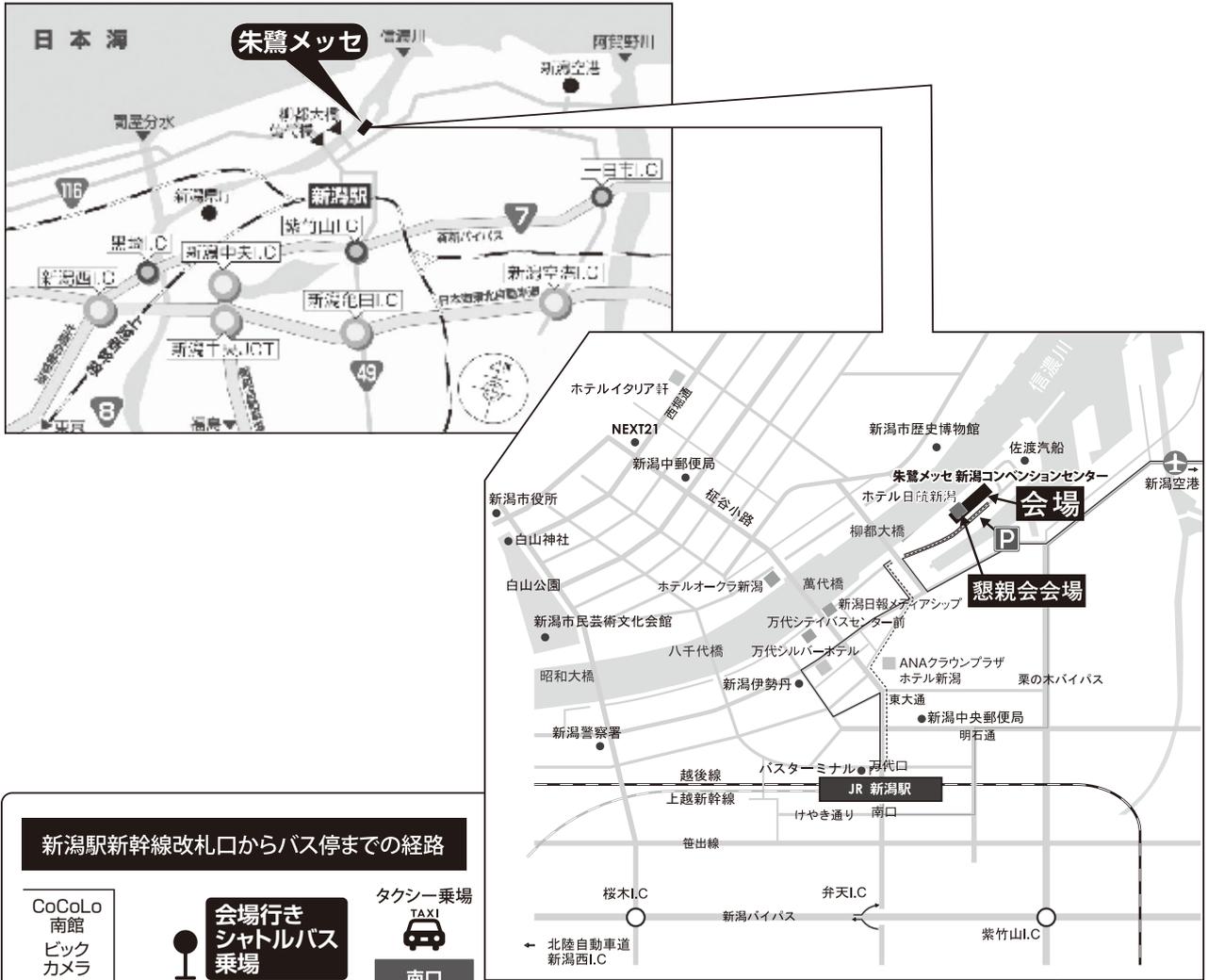
15:00~16:00

ポスター示説:P27-〇〇〇 (ポスター会場:1F 展示ホールB)

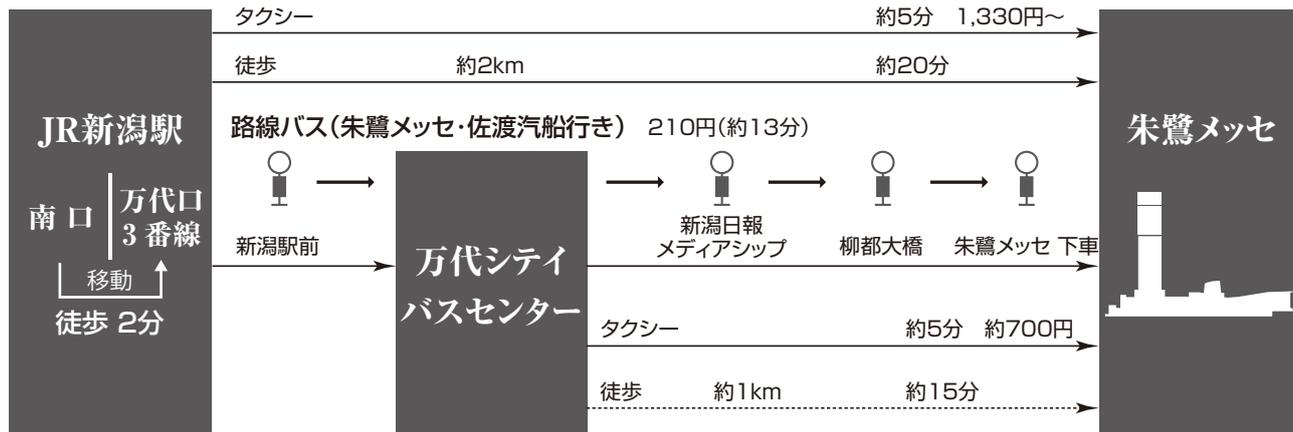
16:15~

閉会式 (第1会場 4F マリンホール)

交通のご案内



アクセス（朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター）

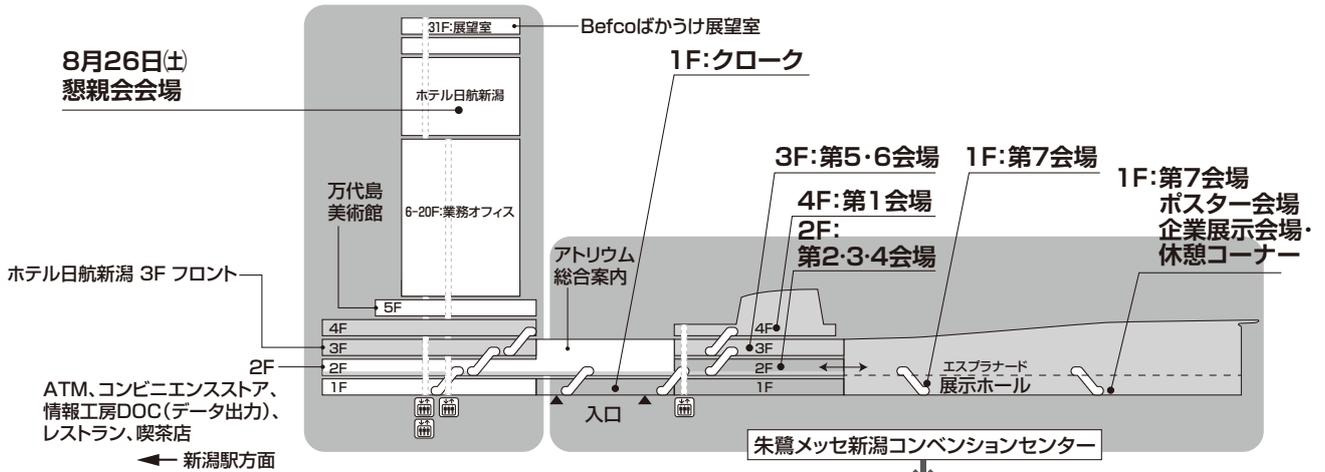


※通常の路線バスに加え新潟駅南口より会場行シャトルバスを運行いたします。
 運行時間等詳細は順次ホームページにてご案内いたしますので、ご確認ください。

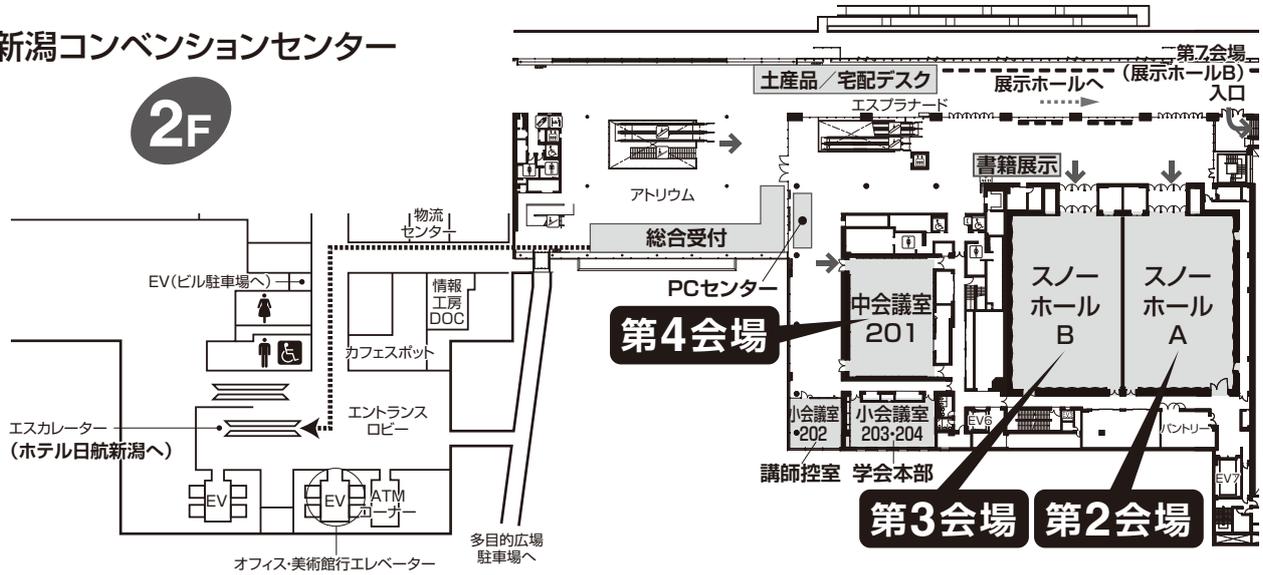
新潟市内、夏競馬が開催されるため宿泊の混雑が想定されます。
 また、8月26日(土)は大型コンサートが開催されるため、交通の混雑が想定されます。
 最新情報はホームページにてご案内いたします。

会場のご案内

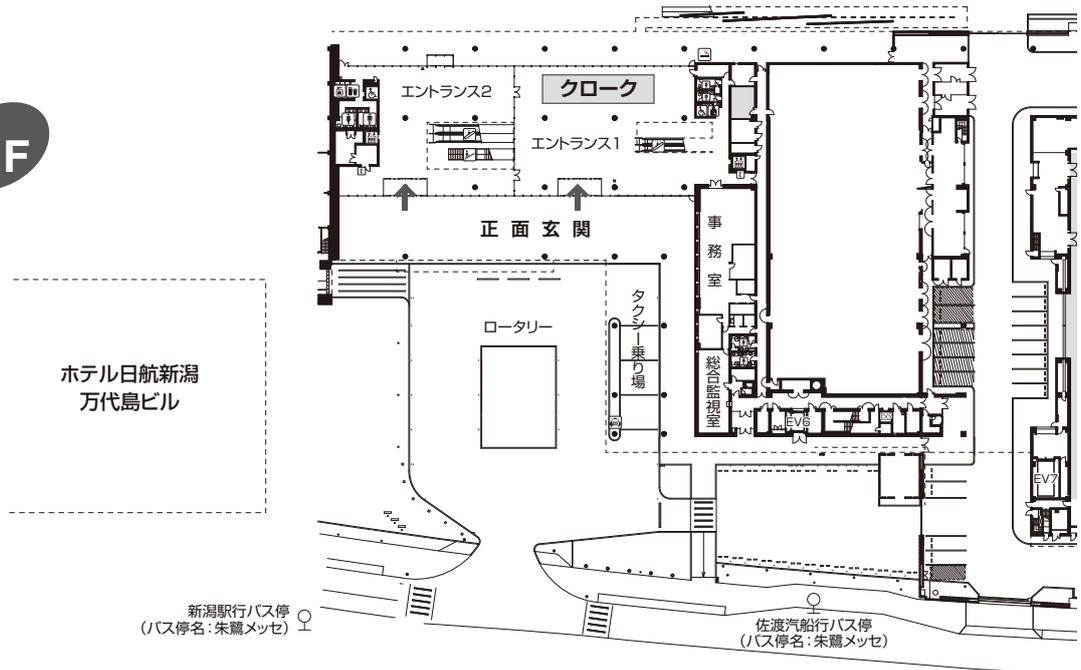
朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター



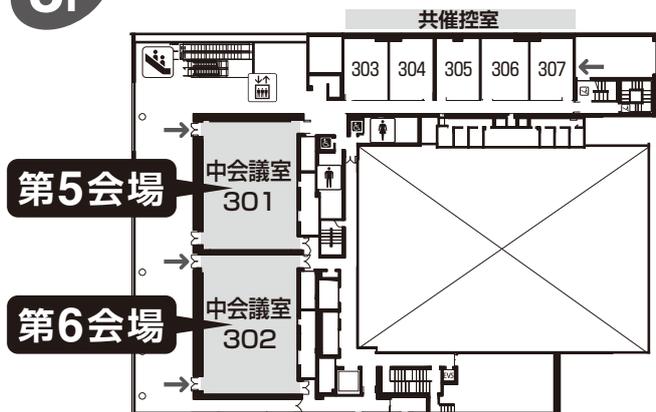
新潟コンベンションセンター



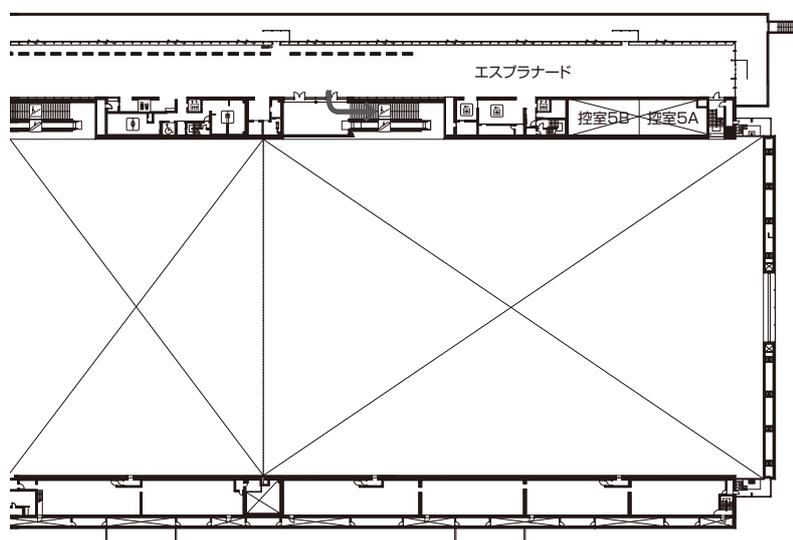
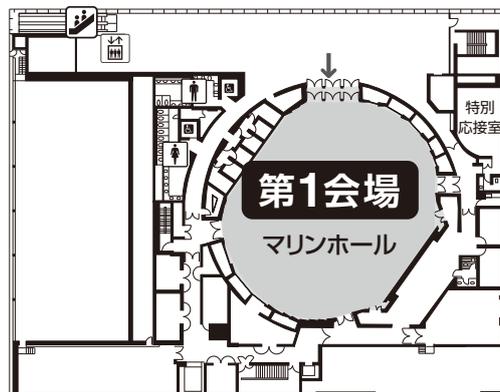
1F



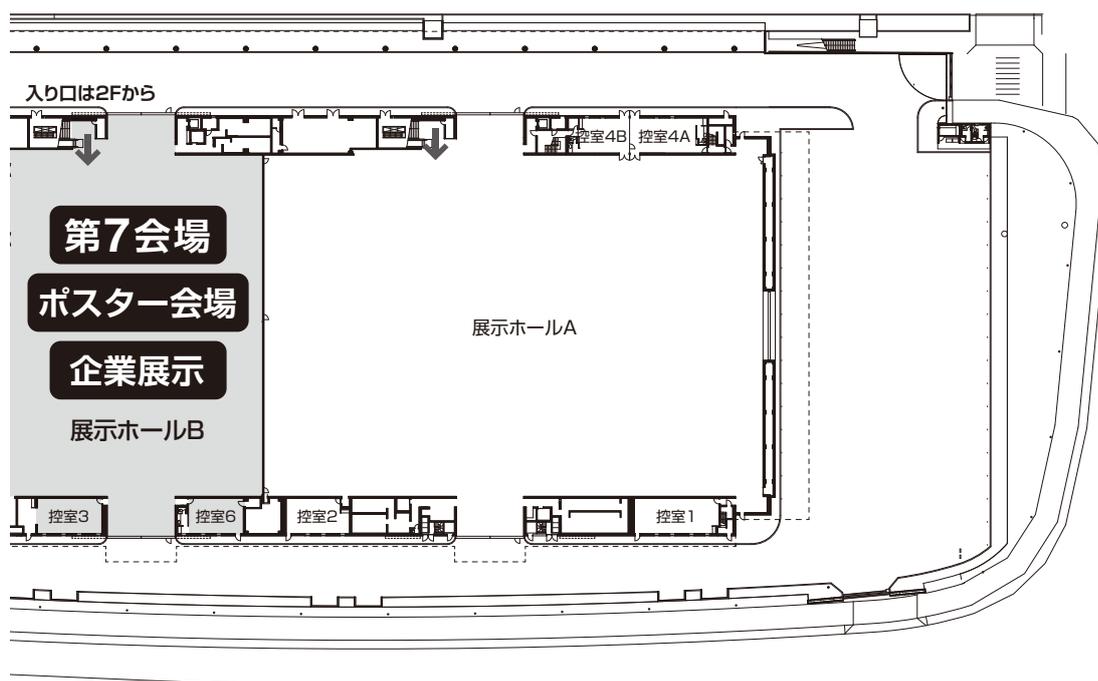
3F



4F



展示ホール
(第7会場・ポスター会場・
企業展示会場)へは
2Fエスプラナードから
1Fへお降りください。



タイムスケジュール

8月26日 土

	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00
第1会場 4F マリンホール					11:30~12:30 ランチョンセミナー1 東和薬品(株)
第2会場 2F スノーホールA					11:30~12:30 ランチョンセミナー2 セルトリオンヘルスケア・ジャパン(株)
第3会場 2F スノーホールB					11:30~12:30 ランチョンセミナー3 武田薬品工業(株)
第4会場 2F 中会議室201					11:30~12:30 ランチョンセミナー4 日本化薬(株)
第5会場 3F 中会議室301					11:30~12:30 ランチョンセミナー5 エーザイ(株)
第6会場 3F 中会議室302					
第7会場 1F 展示ホールB					
学術大会企業展示会場 1F 展示ホールB					
日本薬科機器協会展示会場 1F 展示ホールB					
ポスター会場 1F 展示ホールB					ポスター貼付
書籍展示展示会場 1F 展示ホールB					

8月27日 日

	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00
第1会場 4F マリンホール			9:15~10:15 教育講演 2	10:25~11:25 特別講演	11:40~12:40 ランチョンセミナー6 田辺三菱製薬(株)
第2会場 2F スノーホールA				10:15~11:15 教育講演 4	11:40~12:40 ランチョンセミナー7 アルジェニクスジャパン(株)
第3会場 2F スノーホールB			9:15~11:15 シンポジウム 7 学際領域横断的ながん治療マネジメント		11:40~12:40 ランチョンセミナー8 沢井製薬(株)
第4会場 2F 中会議室201			9:15~11:15 シンポジウム 8 実務実習における「精神科医療実習」について		11:40~12:40 ランチョンセミナー9 ニプロ(株)
第5会場 3F 中会議室301			9:15~11:15 シンポジウム 9 治し、支える医療を担う薬剤師業務		11:40~12:40 ランチョンセミナー10 あゆみ製薬(株)
第6会場 3F 中会議室302			9:15~11:15 シンポジウム 10 地域へ繋げる高齢者薬物治療		
第7会場 1F 展示ホールB			9:15~11:15 シンポジウム 11 医薬品情報の過去から未来		11:40~12:40 ランチョンセミナー11 ミヤリサン製薬(株)
学術大会企業展示会場 1F 展示ホールB					大会企
日本薬科機器協会展示会場 1F 展示ホールB					日本薬科機
ポスター会場 1F 展示ホールB			ポスター貼付		ポスタ
書籍展示展示会場 1F 展示ホールB					書籍

12:50~13:10	13:10~13:45	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
開会式	日病薬 会長講演		14:10~15:40 教育講演 1				18:00~ 懇親会 会場: ホテル 日航新潟 4F 朱鷺
			14:10~16:10 シンポジウム 1 薬剤師による感染領域のエビデンスを創出しよう!				
			14:10~16:10 シンポジウム 2 タスクシェア/シフティング				
			14:10~16:10 シンポジウム 3 地域包括ケアシステムにおける地域連携・入退院支援				
			14:10~16:10 シンポジウム 4 多施設共同で取り組むがん化学療法患者の口腔粘膜炎対策				
			14:10~16:10 シンポジウム 5 高齢者の薬物療法に対して生活の視点で薬剤師が明日からできること				
			14:10~16:10 シンポジウム 6 働きやすい薬剤師部門に必要なスキル				
大会企業展示							
日本薬科機器協会展示							
ポスター掲示					16:30~17:30 示説(奇数)	ポスター撤去	
書籍展示							

13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
12:55~13:55 教育講演3				16:15~ 閉会式		
12:55~14:55 スポンサードシンポジウム 第一三共株						
12:55~14:25 シンポジウム 12 高齢者糖尿病の温故知新						
12:55~14:25 シンポジウム 13 鍛錬して見えてきた!? 未来に向けて準備すること						
12:55~14:55 シンポジウム 14 研究したいのに、なかなかできない私の理由(わけ)						
12:55~14:55 シンポジウム 15 20年以上の対応に改めて求められた病院薬剤師における褥瘡対策						
12:55~14:25 シンポジウム 16 妊婦・授乳婦の薬物治療を支える薬剤師の取り組み						
業展示						
器協会展示						
一 掲 示			15:00~16:00 示説(偶数)	ポスター撤去		
展 示						

学術大会ご案内

学術大会参加者各位へのご案内について

本大会につきましては、現地開催にて開催いたします。ライブ配信・オンデマンド配信は実施いたしません。

(1) 学術大会への参加について

① 事前参加登録

事前参加申し込みをされ参加費の振込を完了された方には、参加証(ネームカード)、講演要旨集およびランチョンセミナーのチケットを事前にお送りいたしましたのでご確認ください。

② 当日参加登録

当日参加申し込みをされる方は、当日参加受付にて参加申込書に必要事項を記入し、当日参加費をお支払いの上、参加証(ネームカード)および講演要旨集をお受け取りください(※現金決済のみ)。

〈当日参加受付時間・場所〉

日 時：8月26日(土) 10:30～17:00

8月27日(日) 8:30～15:00

場 所：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター 2F アトリウム

〈当日参加費〉

会 員：10,000円

非会員：11,000円

学 生：1,000円

- ・会員とは日本病院薬剤師会の会員を指します。
- ・学生には大学院生を含みます。但し、社会人学生は学生対象外です。
- ・学生の方は学生証を提示してください。

③ 懇親会について

日 時：8月26日(土) 18:00～

会 場：ホテル日航新潟 4F 朱鷺

参加費：8,000円(※現金決済のみ)

ご参加される方は、2F アトリウム「懇親会受付」にて参加費のお支払いをお願いいたします。

(2) 参加証(ネームカード)

会場(朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター)内では、参加証の装着を運営スタッフが確認させていただきます。

会場内では所属および氏名を記入した参加証が良く見えるように装着してください。

参加証を装着していない方は、参加登録前を除き会場への立ち入りはできません。

(3) 質疑応答

多くの質疑・討論を歓迎いたしますが、質疑・討論は、座長の指示に従い、所属および氏名を告げてから、短時間で発言してください。シンポジウムの円滑な進行にご協力をお願いいたします。

(4) 服装

本大会はクールビズを推奨しております。ご参加の際はノーネクタイ・ノージャケットでお越しください。演者・座長ならびに運営スタッフもノーネクタイ・ノージャケットとしますのでご了承ください。

(5) 報道関係者

報道関係者など本学術大会を取材される方は、総合案内(2F アトリウム)にて取材申込書に必要事項を記入して申請し、許可を受け、参加証をお受け取りください。許可なく学術大会を取材された場合には退場していただきます。

(6) 呼び出し

会場および講演会場内での呼び出しは原則として行いません。総号案内付近に設置します掲示板に伝言メモを貼り付けてください。なお、伝言メモは当日のみ有効とし、当日の受付終了時刻に撤去しますのでご了承ください。

(7) 講演およびポスターの撮影

事務局の許可なく発表中のセッション会場内での写真・ビデオ撮影は禁止とします。また、発表者の許可なくポスター発表内容の撮影を禁止します。許可なく撮影された場合には、データの消去とともに退場していただく事がありますのでご了承ください。

(8) 喫煙

会場は全館禁煙です。施設所定の1F ロビー奥の喫煙所をご利用ください。

(9) 飲食

会場内の飲食は、ランチョンセミナー会場を除き、所定の場所以外では禁止とします。

(10) 携帯電話

講演会場内では、電源を切るかマナーモードとしてください。また、会場内での歩きスマホはご遠慮ください。

(11) クローク

朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター 1F に特設で設置いたします。

なお、クロークで貴重品、傘のお預かりはいたしかねますので予めご了承ください。

開設時間：8月26日(土) 10:30～18:00

8月27日(日) 8:30～17:00

※懇親会へご参加の方は、一旦引き取り、ホテル日航新潟の4F クロークへ再度お預けください。

(12) 一般演題について

① 発表形式：本学術大会での一般演題発表は、すべてポスター形式とします。

② ポスター番号：掲示・示説日は第53回学術大会事務局にて決定します。

ポスター番号につきましてはP26-001から始まる番号となります。

- ③ ポスター掲示・示説会場：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター 1F 展示ホールB
示説時間：8月26日(土) 16:30～17:30 奇数番号
8月27日(日) 15:00～16:00 偶数番号
ポスター発表については自由討論となります。

(13) ランチョンセミナー

ランチョンセミナーを聴講される方は、セミナー会場入り口でランチョンセミナーチケットとお弁当を引き替えてご入場ください。

なお、ランチョンセミナーは事前登録制となっております。

当日、残席がある場合は以下の日時・場所にてランチョンセミナーチケットを配布いたします。

8月26日(土) 10:30～11:00 2F アトリウム

8月27日(日) 8:30～11:00 2F アトリウム

配布はなくなり次第終了となりますのでご了承ください。

(14) その他

朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンターに有料駐車場(料金：最初の60分無料、以後30分毎100円、終日最大1,500円)がございます。

※無料券、割引券の取り扱いは行っておりませんのでご了承ください。

(15) 無料 Wi-Fi

朱鷺メッセ新潟コンベンションセンターの無料 Wi-Fi をご利用いただけます。

SSID、パスワードは会場にてご案内いたします。

1. 一般社団法人 日本病院薬剤師会 日病薬病院薬学認定薬剤師制度

本大会は、日病薬病院薬学認定薬剤師制度の認定対象となります。

研修シールの受け取りには受講者名が必須となっております。

研修シールの配布時間と場所は下記の通りとなります。研修シールは各日当日分のみを配布し、再発行、及び当日分以外の配布は行いません。

取得数：8月26日(土) 3単位

8月27日(日) 4単位

※なお、取得単位数につきましては申請時の情報となります。最新の情報はホームページをご確認ください。

開設時間：8月26日(土) 15:00～18:00

8月27日(日) 13:30～16:30

開設場所：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター 2F アトリウム

スムーズに「研修シール」を取得できるよう予め“研修シール取得申請書”のご記入をお願いいたします。

当日も会場にて申請書をご記入することは可能ですが、スムーズな受付のため、事前のご用意にご協力ください。

“研修シール取得申請書”は各日1枚提出が必要です。2日間単位取得の場合は“研修シール取得申請書”を2枚ご用意ください。

■ 研修シール取得方法(会期当日)

研修シール受付にて、“研修シール取得申請書”の提出と“参加証”の提示

研修シール取得申請書をご提出していただき、参加証に交付済みチェックを行います。



1日に取得できるシールは1枚のみです。

研修シール受け取り

※紛失された場合でも、シールの再発行は出来かねます。ご注意ください。

2. 一般社団法人日本病院薬剤師会 専門薬剤師・認定薬剤師認定講習会

下記のシンポジウムでは日本病院薬剤師会 専門薬剤師・認定薬剤師単位が取得できます。単位を希望される方は、取得手順をご確認の上、「講習会受講証」を取得してください。

(1) シンポジウム1(感染制御)

「薬剤師による感染領域のエビデンスを創出しよう！ ～臨床研究はじめての一步～」

日 時：8月26日(土) 14:10～16:10
会 場：第2会場(2F スノーホールA)

(2) シンポジウム7(がん)

「学際領域横断的ながん治療マネジメント ～薬剤師の新たななかかわり～」

日 時：8月27日(日) 9:15～11:15
会 場：第3会場(2F スノーホールB)

(3) シンポジウム8(精神科)

「実務実習における「精神科医療実習」について」

日 時：8月27日(日) 9:15～11:15
会 場：第4会場(2F 中会議室201)

(4) シンポジウム16(妊婦・授乳婦)

「妊婦・授乳婦の薬物治療を支える薬剤師の取り組み」

日 時：8月27日(日) 12:55～14:25
会 場：第7会場(1F 展示ホールB)

〈取得手順〉

(1) 入場時

各シンポジウムの開始10～15分前より、各会場前で「受講整理券」と「成果報告書」を配布します。「受講整理券」と「成果報告書」に印字の受講番号が同一か確認の上、入場してください。

(2) シンポジウム聴講中

「成果報告書」に、施設名・ご氏名ならびに成果報告を記載してください。

(3) 退場時

シンポジウム終了後、会場出口で「成果報告書」と「講習会受講証」を引き換えてください。「講習会受講証」には、受講番号、施設名、ご氏名をご自身で記入してください。受講番号は、お手元に残る「受講整理券」に記載されています。

〈ご注意〉

- 「受講整理券」、「成果報告書」、「講習会受講証」は、各单位、お1人様1枚ずつのみ発行します。
- 「受講整理券」と「成果報告書」の配布はセッション開始後に終了します。
- 途中退出の場合、「講習会受講証」の発行は出来ません。
- セッション終了後10分で、「講習会受講証」の発行は終了します。後日発行や再発行は出来ません。
- 2で取得した「講習会受講証」を日本病院薬剤師会専門薬剤師制度に使用する場合には、「講習会受講証」に1の日本病院薬剤師会日病薬病院薬学認定薬剤師制度研修シールを貼付してください。

3. 一般社団法人日本精神薬学会 認定薬剤師講習会

下記のシンポジウムでは日本精神薬学会 認定薬剤師単位が取得できます。
単位を希望される方は、取得手順をご確認の上、「講習会受講証」を取得してください。

シンポジウム8

「実務実習における「精神科医療実習」について」

日 時：8月27日(日) 9:15～11:15

会 場：第4会場(2F 中会議室201)

〈取得手順〉

(1) 入場時

シンポジウムの開始10～15分前より、会場前で「受講整理券」を配布します。

(2) シンポジウム聴講中

「受講整理券」に、施設名・所属名・ご氏名を記載してください。

(3) 退場時

シンポジウム終了後、会場出口で「受講整理券」と「講習会受講証」を引き換えてください。
「講習会受講証」には、必要事項をご自身で記入してください。

〈ご注意〉

- 「受講整理券」、「講習会受講証」は、お1人様1枚ずつのみ発行します。
- 2の「受講整理券」、「講習会受講証」と取り間違えないようご自身で確認・管理をお願いいたします。
- 「受講整理券」の配布はセッション開始後に終了します。
- 途中退出の場合、「講習会受講証」の発行は出来ません。
- セッション終了後10分で、「講習会受講証」の発行は終了します。後日発行や再発行は出来ません。
- 2の「受講整理券」、3の「講習会受講証」との取り間違いによる後日発行や再発行は出来ません。
- 一般社団法人日本精神薬学会 認定薬剤師単位は、2の日本病院薬剤師会 専門薬剤師・認定薬剤師単位と同時取得可能です。

座長・指定演題発表者へのご案内

〈PC受付〉

場 所：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター 2F ホワイエ

時 間：8月26日(土) 10:30～16:00

8月27日(日) 8:30～14:00

ご講演開始時刻の30分前までにPC受付にお越しいただき受付をお済ませください。

(2日目の方は、前日にお済ませいただくことも可能です。)

①発表形式

- ㉑ PowerPointを使用した発表のみとします。
- ㉒ スライド枚数に制限はありませんが、予め依頼いたしました発表時間は厳守されますようお願いいたします。
- ㉓ PCの操作は、演台にセットされているモニター、キーボード、マウスを使用し、演者ご自身でお願いいたします。
- ㉔ 講演データのスクリーンへの投影は、1画面のみとなります。音声はご利用できません。
- ㉕ プロジェクター解像度は1920×1080(Full-HD)となります(スクリーンサイズ 16:9)。
- ㉖ OS標準フォント(MSゴシック、MS明朝、Centuryなど)をご使用ください。
- ㉗ 講演データはUSBメモリもしくは自身のPCにてご持参ください。USBメモリを持参される方は〈USB持ち込みの時の注意〉を、持ち込みPCで発表される方は、〈PC本体持ち込みの時の注意〉をお読みいただき、事前に外部出力チェックをご確認ください。

〈USB持ち込みの時の注意〉

- PC受付(パワーポイントデータ受付)では、ウイルスセキュリティを最新に更新し、万全を期しますが、未知のウイルスに感染する可能性を否定できません。会場システムへのウイルス感染予防のため事前にUSBメモリもウイルスチェックをおこなって頂けますようお願いいたします。また、講演データのみ保存したUSBメモリをご持参ください。
- ファイル名は以下のようにしてください。
セッション名・演者名 例：シンポジウム1・新潟太郎

〈PC本体持ち込みの時の注意〉

- Macをご使用の場合にはPC本体をご持参ください。
- プロジェクターのモニター端子は「HDMI」です。変換コネクタが必要な場合にはご自身でお持ちください。
- ACアダプタを必ずお持ちください。
- スクリーンセーバー、消費電力設定は事前に解除しておいてください。
- セッション開始30分前までにPC受付(パワーポイントデータ受付)にて動作確認後、ご自身で会場左前方のPCオペレータ席までお持ちください。セッション終了後にPCオペレータ席にて返却いたします。
- 会場内で用意したプロジェクターと接続できない場合に備え、バックアップ用データをUSBメモリにてご持参ください。

- ⑧ 本学術大会が用意するシステム環境は下記のとおりです。

OS：Windows11

データ形式：PowerPoint 2021 (365)

動画ソフト：Windows Media Player

Mac を使用される方は PC 本体ならびにプロジェクターとの接続器具(コネクタ)を持参ください。システム環境にて対応できない画面の不具合やデータの不備につきましては演者の責任にてご対応をお願いします。

- ⑨ 本学術大会で使用しました講演データは、大会終了後に大会事務局にて責任を持って消去いたします。

- ⑩ 講演内容における倫理的配慮について

本大会における講演にあたっては、文部科学省と厚生労働省にて人を対象とする医学系研究の実施にあたり全ての関係者が遵守すべき事項として定められた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年3月23日公布 令和4年3月10日一部改正)に準拠し、倫理的問題に十分配慮してください。

- ⑪ 利益相反(COI)に関する情報開示について

一般社団法人日本病院薬剤師会利益相反の申告内容と開示に関する細則に準じて、講演時に利益相反についての情報開示をお願いいたします。

(ポスター発表者は、ポスター内に記載してください。)

② 発表と示説

大会1日目(26日)と2日目(27日)で貼り替えとなります。

貼付、掲示、討論、撤去、それぞれすべてを奇数と偶数に分けて行います。

※ポスターは1日目と2日目で貼り替えとなりますので、2日目(偶数)の方が1日目にポスター貼付を行うことは出来かねますのでご注意ください。

ご自身の掲示日と示説時刻にご注意ください。掲示開始時刻前にポスター掲示をお済ませください。撤去時刻までに必ず撤去をお願いいたします。

ポスター発表会場：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター 1F 展示ホール B

〈演題番号：奇数番号(P26-○○○)〉

貼付：8月26日(土) 11:00～12:30

掲示：8月26日(土) 12:30～16:30

示説：8月26日(土) 16:30～17:30 奇数番号

撤去：8月26日(土) 17:30～18:30

〈演題番号：偶数番号(P27-○○○)〉

貼付：8月27日(日) 9:00～10:30

掲示：8月27日(日) 10:30～15:00

示説：8月27日(日) 15:00～16:00 偶数番号

撤去：8月27日(日) 16:00～17:00

(1) ポスター発表者の受付は設けていません。

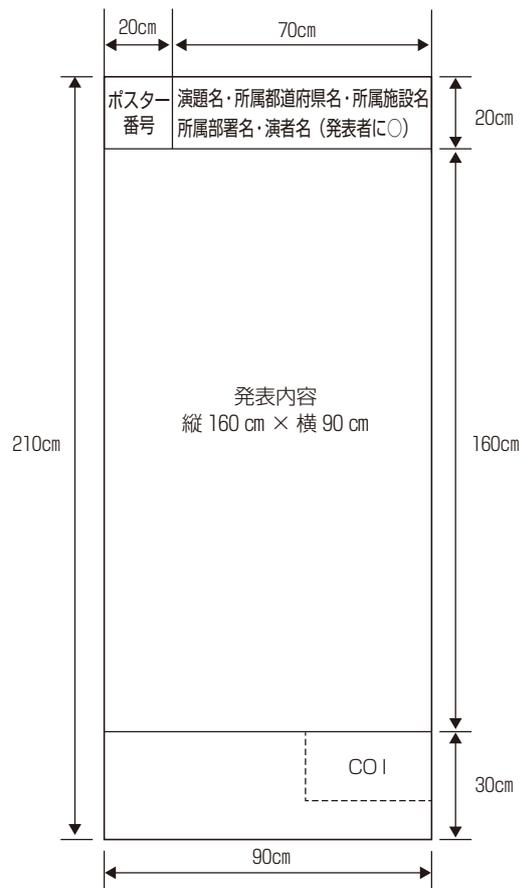
(2) 発表者は、必ず指定の時間内に設営・撤去を行ってください。

押しピンは各パネルにご用意します。

- (3) 座長による進行は設けず自由討論とします。発表者は、ご自身のパネルの前で待機してください。
- (4) 指示棒が必要な方は、各自でご用意ください(大会側ではご用意しません。)

③ポスター作成・貼付

- (1) 演題番号(縦20cm×横20cm)は、学術大会側にて用意します。ポスターボードに予め表示しています。
- (2) 本文とは別に、縦20cm×横70cmに収まる様、演題名・所属・氏名を記入したタイトルをご用意ください。
- (3) 本文は縦160cm×横90cmに収まる様にしてください(下図参照)。
- (4) パネルの右下部に COI(利益相反)の開示をお願いいたします。



プログラム

日本病院薬剤師会会長講演

8月26日(土) 13:10～13:45 [第1会場]

座長：外山 聡(新潟大学医歯学総合病院 薬剤部)

PL 病院・診療所薬剤師の未来を拓く
—地域医療を支える薬剤師連携—

一般社団法人 日本病院薬剤師会 会長 武田 泰生

特別講演

8月27日(日) 10:25～11:25 [第1会場]

座長：宮川 哲也(上越地域医療センター病院 薬剤科)

SL 日本が目指す医療の姿と薬剤師への期待

厚生労働省 医薬・生活衛生局総務課 薬事企画官 太田 美紀

教育講演

教育講演 1

8月26日(土) 14:10～15:40 [第1会場]

座長：高橋 和也(信楽園病院 薬剤部)

EL-1 心不全治療の up to date
～脚本書きと薬剤師の関わり～

新潟大学大学院 医歯学総合研究科 循環器内科学 猪又 孝元

教育講演 2

8月27日(日) 9:15～10:15 [第1会場]

座長：山本 修也(新潟厚生連 糸魚川総合病院 薬剤部)

EL-2 薬剤部門を強くする人材育成と管理者の思い

横浜薬科大学臨床薬剤学・実務実習センター 佐藤 透

教育講演3

8月27日(日) 12:55～13:55 [第1会場]

座長：山本 剛(新潟県厚生連 上越総合病院 薬剤部)

EL-3 病院・薬局・大学間の「三葉連携」を一層強化し、 より質の高い実務実習を実施するために

慶應義塾大学薬学部 医療薬学・社会連携センター 中村 智徳

教育講演4

8月27日(日) 10:15～11:15 [第2会場]

座長：竹野 敏彦(日本歯科大学新潟病院 薬剤科)

EL-4 令和6年度診療報酬改定の動向 ～病院薬剤師はいかに評価されるか 働き方改革+医療DX改定を見据えて～

一般社団法人 日本血液製剤機構 事業戦略部 谷澤 正明

シンポジウム

シンポジウム1

8月26日(土) 14:10～16:10 [第2会場]

座長：佐村 優(横浜総合病院 薬剤部/感染制御室)

小林 謙一(長岡赤十字病院 薬剤部)

[薬剤師による感染領域のエビデンスを創出しよう！

～臨床研究ははじめの一步～]

S1-1 クリニカルクエスチョンとリサーチクエスチョン：作りかたの極意

社会医療法人新潟勤労者医療協会 下越病院 薬剤課 三星 知

S1-2 後ろ向き研究 はじめの一步

新潟県厚生連長岡中央総合病院 薬剤部 細川 浩輝

S1-3 症例報告のまとめ方

医療法人社団緑成会 横浜総合病院 薬剤部 高田 啓介

S1-4 市中病院薬剤師が社会人博士課程に進学し、 ロードマップを用いたセフメタゾールの最適投与法の構築

東京ベイ・浦安市川医療センター/
慶應義塾大学 薬学部 医療薬学・社会連携センター 並木 孝哉

S1-5 メタ解析の進め方、まとめ方

東邦大学 薬学部 臨床薬学研究室 花井 雄貴

シンポジウム2

8月26日(土) 14:10～16:10 [第3会場]

座長：渡辺 一也(厚生連 けいなん総合病院 薬剤部)

近藤 宏(厚生連 長岡中央総合病院 薬剤部)

[タスクシェア / シフティング ～専門薬剤師の実践紹介～]

S2-1 外来がん薬物療法におけるタスクシフト～専門性をより活かすために～

自治医科大学附属病院 薬剤部 奥田 泰考

S2-2 周術期・救急・感染領域におけるタスクシェア / シフトの実践例紹介

医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院 薬剤部 宮田 祐一

S2-3 AST 薬剤師によるバンコマイシン注代処方入力の実践 ～タスクシフトにおける付加価値を創造する～

横浜市立みなと赤十字病院 薬剤部 高橋 希

S2-4 薬剤師業務をタスクシフト、休止する業務、そして求められる関わりへ

新潟県厚生連 長岡中央総合病院 薬剤部 近藤 宏

シンポジウム3

8月26日(土) 14:10～16:10 [第4会場]

座長：舟越 亮寛(亀田総合病院 薬剤部)

宮川 哲也(上越地域医療センター病院 薬剤科)

[地域包括ケアシステムにおける地域連携・入退院支援 ～高度急性期・急性期・回復期・在宅での実践～]

S3-1 地域包括ケアシステムにおける保険薬局の地域医療連携の実践

クオール薬局 港北店 村田 勇人

S3-2 高齢患者に寄り添った回復期病院における情報共有のとりくみについて

IMS(イムス)グループ イムス板橋リハビリテーション病院 薬剤部 河邊 紅仁

S3-3 「これまで」そして「これから」 ある地方・地域医療圏の現状と今後、医療体制再構築をめざす中で

新潟県立燕労災病院 薬剤部 夏目 義明

S3-4 ～ひとの力が薬を生かす～ 高度急性期病院における入退院支援業務の展開

埼玉医科大学総合医療センター 薬剤部 齋藤 健一

座長：飛鷹 範明(愛媛大学病院 薬剤部)

金野 昇(山形大学病院 薬剤部)

[多施設共同で取り組むがん化学療法患者の口腔粘膜炎対策
～ TAKT 研究の成果～]

- S4-1** 臨床薬剤師主導による業務改善の臨床研究とその成果
～ TAKT 研究の紹介～
新潟大学医歯学総合病院 薬剤部 吉田 謙介
- S4-2** 若手薬剤師が TAKT 研究に取り組んでみて
山形大学医学部附属病院 安藤 智七美
- S4-3** 地域医療の中核病院として TAKT 研究に取り組んでみて
新潟大学地域医療教育センター 魚沼基幹病院 矢吹 剛
- S4-4** がん患者の口腔粘膜炎に対する愛媛大学医学部附属病院の薬剤師の関わり
— TAKT 研究に参加して —
愛媛大学医学部附属病院 薬剤部 中井 昌紀
- S4-5** 薬剤師の口腔粘膜炎に関する知識・意識調査アンケート
— 歯科医師による e-Learning の有用性 —
新潟大学医歯学総合病院 薬剤部 星野 直人

座長：武藤 浩司(新潟市民病院 薬剤部)

藤原 久登(昭和大学藤が丘病院 薬剤部)

[高齢者の薬物療法に対して生活の視点で薬剤師が明日からできること]

- S5-1** 高齢者薬物療法最新アップデート
国立長寿医療研究センター 薬剤部 / 溝神 文博
国立長寿医療研究センター 長寿医療研修部 高齢者薬学教育研修室
- S5-2** 中小病院におけるポリファーマシー対策の実際
新潟県立加茂病院 薬剤部 山下 弘毅
- S5-3** リハ薬剤を通して生活モデルの薬物治療を実践する
順天堂大学医学部附属順天堂医院 薬剤部 小瀬 英司
- S5-4** 高齢者の生活機能改善のために薬剤師が実践できる地域連携対策の手法
三豊総合病院 薬剤部 篠永 浩

シンポジウム6

8月26日(土) 14:10～16:10 [第7会場]

座長：多川 洋史(新潟大学医歯学総合病院 薬剤部)

保科 知(医療法人至誠会 長岡保養園 薬剤部)

[働きやすい薬剤部門に必要なスキル]

S6-1 薬剤師にも必要な情報スキルを考える

新潟大学医歯学総合病院 薬剤部

三澤 昭彦

S6-2 ラダー制度を用いた人材育成体制の確立 ～内発的動機づけと外発的動機づけの側面から～

AMG 上尾中央総合病院 薬剤部

新井 亘

S6-3 薬剤部門・薬剤師に求められる経営的視点について考える ～薬剤師の「存在価値」を高めるには～

医療法人恒仁会 新潟南病院 薬剤部

渡部 学

S6-4 アンガーマネジメント ～職場のコミュニケーションスキル～

株式会社 Rapport

伊藤 美幸

シンポジウム7

8月27日(日) 9:15～11:15 [第3会場]

座長：吉野 真樹(新潟県立新発田病院 薬剤部)

米村 雅人(国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院 薬剤部)

[学際領域横断的ながん治療マネジメント ～薬剤師の新たなかわり～]

S7-1 癌と循環器病が交わる先で薬剤師が専門性を発揮する未来を創る ～ OncoCardiology のこれから～

聖マリアンナ医科大学病院 治験管理室

土岐 真路

S7-2 Onco-nephrology ～腎障害患者における『がん薬物療法』による腎障害～

群馬県立がんセンター 薬剤部

藤田 行代志

S7-3 誰がやる？ 薬剤師でしょ。抗がん剤の皮膚障害対策

湘南医療大学 薬学部 薬物治療学研究室

佐藤 淳也

S7-4 がん治療中の糖尿病マネジメント ～2つの病をどう支えるか～

国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院 薬剤部

田内 淳子

座長：山口 毅(高田西城病院 診療技術部 薬剤課)
佐合 絵里(田宮病院 薬局)

[実務実習における「精神科医療実習」について]

- S8-1** 私の考える精神科医療の重要性と学生教育
新潟薬科大学 医療技術学部 臨床検査学科 継田 雅美
- S8-2** 当院における実務実習の現状と課題
特定医療法人青山信愛会 新潟信愛病院 薬局 須佐 寿
- S8-3** 精神科医療実習を通じて感じた経験的学習の大切さについて
日本調剤株式会社 横浜第二支店薬剤2課 上永谷駅前薬局兼薬事採用センター 小川 雄大
- S8-4** 精神科での経験を振り返って
医療法人崇徳会 長岡西病院 薬局 多田 成美
- S8-5** 昭和大学附属烏山病院における精神医療実習の現状と課題
昭和大学薬学部病院薬剤学講座/昭和大学附属烏山病院 黒沢 雅広

座長：山田 宜和(新潟県立リウマチセンター 薬剤部)
濱浦 睦雄(蕨市立病院 薬剤科)

[治し、支える医療を担う薬剤師業務 ～中小病院・診療所の取り組み～]

- S9-1** 回復期リハビリテーション病棟における薬剤業務
～入院時持参薬鑑別業務を医療連携に活かす～
AMG さがみりハビリテーション病院 薬剤科 岡添 進
- S9-2** 病院薬剤師がつなげる地域医療との新しい架け橋
～地域包括ケア病棟担当薬剤師からの発信～
地方独立行政法人 長野県立病院機構 県立信州医療センター 薬剤部 三澤 貴美
- S9-3** PBPM を活用したがん化学療法室での取り組み
医療法人社団善仁会 小山記念病院 薬剤部 花香 淳一
- S9-4** クリニックにおける気管支喘息の外来介入に関して
～薬剤師による外来指導・タスクシフト～
ブラーナクリニック 薬剤部 逸見 和範
- S9-5** 新潟南病院における人材の定着率向上に向けた取り組みについて
～やりがいのある職場を目指して～
医療法人恒仁会 新潟南病院 薬剤部 渡部 学

座長：澁田 憲一(岸和田藤井病院 薬剤科)

室岡 直子(とやの中央病院 薬局)

[地域へ繋げる高齢者薬物治療 ～薬剤管理サマリーの普及に向けて～]

- S10-1** 高齢者薬物治療のバトンを繋げていくには
地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター 薬剤科 島崎 良知
- S10-2** 当院におけるポリファーマシーへの取り組みと
薬物療法の継続を目的とした薬剤管理サマリーの運用について
医療法人恒仁会 新潟南病院 薬剤部 山下 栞
- S10-3** 退院後の生活を見据えて
～回復期リハビリテーション病棟における薬剤師の役割～
上越地域医療センター病院 薬剤科 武藤 佳子
- S10-4** 病院併設型の介護老人保健施設でできる継続可能な薬学的支援
公益社団法人地域医療振興協会 台東区立台東病院・
老人保健施設千束 薬剤室 鈴木 慶介
- S10-5** 介護老人保健施設における情報連携と薬剤師の役割
医療法人協友会 介護老人施設横浜あおぼの里 薬剤部 丸岡 弘治

座長：酒井 和久(新潟県立燕労災病院 薬剤部)

武藤 浩司(新潟市民病院 薬剤部)

[医薬品情報の過去から未来]

- S11-1** 医薬品情報の過去から未来
杏林大学医学部付属病院 薬剤部 若林 進
- S11-2** DI 室業務の現状と課題
新潟市民病院 薬剤部 安井 淳子
- S11-3** 医薬品情報業務の“いま”
AI スピーカー、ChatGPT、BingAI に医薬品情報記録を質問した結果分析
新潟大学医歯学総合病院 薬剤部 塚口 真穂登
- S11-4** 医薬品情報業務の未来予想図
～社会薬学的な視点で医薬品情報業務を考える～
株式会社日立製作所 ひたちなか総合病院 TQM 統括経営支援センター 関 利一

シンポジウム12

8月27日(日) 12:55～14:25 [第3会場]

座長：山田 徹(医療法人社団白美会 白根大通病院 薬剤科)

駒井 元彦(藤沢市民病院 薬局)

[高齢者糖尿病の温故知新]

S12-1 高齢糖尿病患者の多疾患合併例について再考する

新潟医療生活協同組合 木戸病院 薬剤部

持田 知志

S12-2 糖尿病をもつ高齢者と目指す治療とは

あがの市民病院 薬剤部

石塚 ほから

S12-3 実例で考える高齢者の低血糖とシックデイ ～患者指導のポイント～

藤沢市民病院 薬局

駒井 元彦

S12-4 高齢糖尿病患者の治療方針と薬剤師に求められていること

新潟市民病院 内分泌・代謝内科

宗田 聡

シンポジウム13

8月27日(日) 12:55～14:25 [第4会場]

座長：若林 広行(新潟薬科大学 名誉教授)

近藤 宏(厚生連 長岡中央総合病院 薬剤部)

[鍛錬して見えてきた！？ 未来に向けて準備すること ～キャリアパスも振り返りながら～]

S13-1 外来がん治療認定薬剤師認定を通じて考えていること ～複雑化するがん治療における薬剤師の役割について～

長岡赤十字病院 薬剤師

橋 正毅

S13-2 医療薬学専門薬剤師取得への道のり ～経験から伝えられること～

新潟県厚生連 長岡中央総合病院 薬剤部

金子 睦志

S13-3 感受性をあげろ！認定取得後の活動 Escalation

地域医療振興協会 東京ベイ・浦安市川医療センター 薬剤室

榎 秀樹

S13-4 どうしていますか？施設を超えた地域の薬剤師教育

JA 長野厚生連 佐久総合病院 薬剤部／長野県病院薬剤師会

三浦 篤史

シンポジウム14

8月27日(日) 12:55～14:55 [第5会場]

座長：吉野 真樹(新潟県立新発田病院 薬剤部)

鈴木 光幸(済生会新潟病院 薬剤部)

[研究したいのに、なかなかできない私の理由(わけ)

～そのハードルはきっと乗り越えられる！～]

S14-1 これから臨床研究をはじめると越えたい最初のハードル
～研究のきっかけがつかめないケース～

済生会新潟病院 薬剤部 上村 賢介

S14-2 指導者がいなくてもハードルは越えられる

山梨県立中央病院 薬剤部 若月 淳一郎

S14-3 臨床研究におけるハードルを乗り越えるためのアクションプラン

社会医療法人新潟勤労者医療協会 下越病院 薬剤課 三星 知

S14-4 そのハードルを乗り越えるために、
指導者と被指導者がともに持つべきマインド ～半学半教のすすめ～

慶應義塾大学 薬学部 今井 俊吾

シンポジウム15

8月27日(日) 12:55～14:55 [第6会場]

座長：飯塚 雄次(帝京大学ちば総合医療センター 薬剤部)

飯田 純一(済生会横浜市南部病院 入退院支援センター)

[20年以上の対応に改めて求められた病院薬剤師における褥瘡対策]

S15-1 令和4年度診療報酬改定にどう取り組むか？

東京医科大学病院 薬剤部 関根 祐介

S15-2 薬剤関連褥瘡とその対策

国立長寿医療研究センター 薬剤部 / 溝神 文博
国立長寿医療研究センター 長寿医療研修部 高齢者薬学教育研修室

S15-3 外用薬の基礎と選択のポイント

星薬科大学 基礎実習研究部門 笹津 備尚

S15-4 褥瘡治療への関わり方ってどうやるの？
ちょっと視点を加えれば大丈夫じゃないかな

帝京大学 ちば総合医療センター 薬剤部 飯塚 雄次

S15-5 褥瘡対策における病院薬剤師の役割

上越地域医療センター病院 薬剤科 宮川 哲也

座長：小西 久美(筑波大学附属病院 薬剤部)

新木 貴大(新潟大学医歯学総合病院 薬剤部)

[妊婦・授乳婦の薬物治療を支える薬剤師の取り組み]

S16-1 当院の妊娠と薬外来での取り組みと最近の症例

新潟大学医歯学総合病院 薬剤部

新木 貴大

S16-2 薬物治療と母乳哺育の両立を目指して

信州大学医学部附属病院 薬剤部

小澤 秀介

S16-3 妊娠と薬情報センターでの薬剤師の取り組み

国立成育医療研究センター 妊娠と薬情報センター

八楯 奈穂

S16-4 適切な周産期薬物療法の提供に向けた試行錯誤

東北大学病院 薬剤部／

東北大学大学院 医学系研究科 分子疫学分野／

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 予防医学・疫学部門

小原 拓

スポンサードシンポジウム

スポンサードシンポジウム

8月27日(日) 12:55～14:55 [第2会場]

座長：木村 宏之(新潟県立がんセンター新潟病院)

共催：第一三共株式会社

SS 第8次医療計画における病院薬剤師の役割を考える ～バイオシミラー使用促進の取り組みも含めて～

東北大学病院 薬剤部

眞野 成康

ランチョンセミナー

ランチョンセミナー1

8月26日(土) 11:30～12:30 [第1会場]

座長：近藤 宏(厚生連 長岡中央総合病院 薬剤部)

共催：東和薬品株式会社

LS-1 骨粗鬆症リエゾンサービスの魅力 ～骨粗鬆症診療における薬剤師の役割～

厚生連 上越総合病院 整形外科

渡部 公正

ランチョンセミナー2

8月26日(土) 11:30～12:30 [第2会場]

座長：木村 宏之(新潟県立がんセンター新潟病院 薬剤部)

共催：セルトリオン・ヘルスケア・ジャパン株式会社

LS-2 肺がんに対する薬物療法の現状と未来

新潟県立がんセンター新潟病院

田中 洋史

ランチョンセミナー3

8月26日(土) 11:30～12:30 [第3会場]

座長：吉野 真樹(新潟県立新発田病院 薬剤部)

共催：武田薬品工業株式会社

LS-3 卵巣がんの治療について

新潟県立がんセンター新潟病院 婦人科

西川 伸道

ランチョンセミナー4

8月26日(土) 11:30～12:30 [第4会場]

座長：渡邊 史典(新潟県立中央病院 薬剤部)

共催：日本化薬株式会社

LS-4 大学病院におけるバイオシミラー導入の実際 ～群馬大学医学部附属病院におけるBSの導入事例～

群馬大学大学院 医学系研究科 臨床薬理学講座 荒木 拓也

ランチョンセミナー5

8月26日(土) 11:30～12:30 [第5会場]

座長：山下 恒弘(新潟大学医歯学総合病院 医療安全管理部)

共催：エーザイ株式会社

LS-5 急性期病院における高齢者のせん妄診療：薬物療法のポイント

新潟市民病院 医療安全部/脳神経内科 他田 正義
認知症ケア・サポートチーム

ランチョンセミナー6

8月27日(日) 11:40～12:40 [第1会場]

座長：山田 宜和(新潟県立リウマチセンター 薬剤部)

共催：田辺三菱製薬株式会社

LS-6 超高齢化社会における筋萎縮性側索硬化症診療

国際医療福祉大学医学部 脳神経内科学 山下 賢

ランチョンセミナー7

8月27日(日) 11:40～12:40 [第2会場]

座長：原 佳津行(SUBARU 健康保険組合 太田記念病院 薬剤部)

共催：アルジェニクスジャパン株式会社

LS-7 全身型重症筋無力症の最新治療 Update ～これからの神経難病診療～

埼玉医科大学総合医療センター 脳神経内科 海田 賢一

ランチョンセミナー8

8月27日(日) 11:40～12:40 [第3会場]

座長：笹原 浩康(新潟大学医歯学総合病院 薬剤部)

共催：沢井製薬株式会社

LS-8 骨粗鬆症に対する薬剤選択と治療継続の重要性

新潟大学大学院 医歯学総合研究科 健康寿命延伸・運動器疾患医学講座 今井 教雄

ランチョンセミナー9

8月27日(日) 11:40～12:40 [第4会場]

座長：寺井 崇二(新潟大学大学院 医歯学総合研究科 消化器内科学分野)

共催：ニプロ株式会社

LS-9 食道疾患治療の新展開
～ GERD から食道運動障害の治療まで～

新潟大学医歯学総合病院 光学医療診療部 水野 研一

ランチョンセミナー10

8月27日(日) 11:40～12:40 [第5会場]

座長：外山 聡(新潟大学医歯学総合病院 薬剤部)

共催：あゆみ製薬株式会社

LS-10 薬剤性腎障害のメカニズムと対策

新潟大学大学院 医歯学総合研究科 腎研究センター 腎・膠原病内科学 成田 一衛

ランチョンセミナー11

8月27日(日) 11:40～12:40 [第7会場]

座長：田中 裕子(新潟市民病院 薬剤部)

共催：ミヤリサン製薬株式会社

LS-11 改訂された CDI ガイドラインのエッセンス

聖マリアンナ医科大学 感染症学講座 國島 広之

一般演題(ポスター示説)

■ 8月26日(土)

P26-○○○

掲示時間 12:30～16:30

示説時間 16:30～17:30

P26-001

当センターにおけるオピオイド製剤使用状況の変遷調査

埼玉県 埼玉県立がんセンター

○中山 季昭、松坂 和正、小林 穂香、大塚 公庸

P27-002

院内調剤における腎機能低下に関する疑義照会および情報源の調査

東京都

- 1) クオール株式会社
- 2) 医療法人鉄蕉会 亀田クリニック 薬剤室
- 3) 医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 薬剤部
- 4) 医療法人鉄蕉会 医療管理本部 薬剤管理部

○緒方 翔子¹⁾、平田 一耕²⁾³⁾、舟越 亮寛³⁾⁴⁾

P26-003

当院における院内製剤カプサイシンクリーム作成と使用状況

東京都

- 1) 社会医療法人社団順江会 江東病院 薬剤部
- 2) 社会医療法人社団順江会 江東病院 皮膚科

○池田 美咲¹⁾、黒田 健吾¹⁾、安藤 咲貴¹⁾、強瀬 瑞生¹⁾、山室 明子¹⁾、霞流 千佳子¹⁾、佐藤 大輔¹⁾、小山 智史²⁾、加賀 麻弥²⁾、金 宗訓²⁾

P27-004

院外処方箋における疑義照会簡素化プロトコルの遵守状況の調査と内容に関する検討

千葉県

- 1) 東京理科大学 薬学部 薬学科 高澤研究室
- 2) 草加市立病院 薬剤部
- 3) 北里大学 薬学部 薬学科 地域医療薬学

○山本 真史¹⁾、本石 寛行²⁾、高澤 涼子¹⁾、根岸 健一³⁾、木村 直也²⁾

P26-005

当院におけるハザーダス・ドラッグの調剤方法の検討と曝露対策に関する意識調査

千葉県

- 1) 順天堂大学医学部附属浦安病院 薬剤科
- 2) 順天堂大学医学部附属順天堂医院 薬剤部
- 3) 順天堂大学医学部附属浦安病院 小児外科

○鬼原 亜紀¹⁾、有井 大介²⁾、菅原 聖子¹⁾、高橋 信矢¹⁾、木村 三奈美¹⁾、室岡 邦彦¹⁾、岡崎 任晴¹⁾³⁾

P27-006

麻薬管理システムの導入による効率的な麻薬管理について

東京都

- 1) 帝京大学医学部附属病院 薬剤部
- 2) 帝京大学 薬学部

○渡邊 基之¹⁾、鈴木 薫子¹⁾、石原 美鈴¹⁾、浅木 知子¹⁾、守屋 貴充¹⁾、光永 義治¹⁾、渡部 多真紀¹⁾²⁾、久保田 篤司¹⁾²⁾、安野 伸浩¹⁾²⁾

■ 8月27日(日)

P27-○○○

掲示時間 10:30～15:00

示説時間 15:00～16:00

P26-007

錠剤一包化鑑査支援システムの運用及び今後の薬剤業務への展望

栃木県 那須赤十字病院

○田村 華恵、小川 結花、中谷 ありさ、倉井 由香、金子 和生、佐藤 学、中丸 朗

P27-008

当院薬剤科の院外処方疑義照会に対する取り組み

東京都 社会福祉法人恩賜財団済生会 東京都済生会向島病院

○新田 正子、武藤 詩奈、西駕 奈緒子、山本 麻衣子、清水 淳一

P26-009

FDG-PET 検査において

ペグフィルグラスチムの影響により

骨髄へのびまん性高集積を認めた4症例

埼玉県 埼玉医科大学国際医療センター

○中島 俊樹、鍵山 智樹、吉田 悟史、松戸 創、牧野 好倫

P27-010

水薬調剤内規の単純化による業務効率化の検討～複雑な内規変えませんか？～

東京都

- 1) 杏林大学医学部付属病院 薬剤部
- 2) 日本大学 薬学部

○長谷川 瑞季¹⁾、若林 進¹⁾、武田 健二¹⁾、針ヶ谷 苑子¹⁾、西 圭史²⁾、小林 庸子¹⁾、吉成 清志¹⁾、吉田 正¹⁾

P26-011

処方箋印字を活用した腎排泄型薬剤処方鑑査の適正化の検討

新潟県 新潟県厚生連 長岡中央総合病院 薬剤部

○細川 浩輝、堀井 奈緒子、殖栗 遥、片桐 啓太、近藤 宏

P27-012

COVID-19 治療薬の投与前チェックリスト運用について

東京都 社会福祉法人あそか会 あそか病院

○小川 志保、守屋 知子、八坂 麻佑子

P26-013

当院における薬剤部での高カロリー輸液全日調製開始に伴う医療安全への影響に関する調査

山梨県 山梨大学医学部附属病院

○犬飼 晶乃、荘司 智和、永井 晶大、内田 淳、福嶋 知樹、中込 哲、小林 みわ子、橘田 文彦

日本病院薬剤師会 会長講演

2023年8月26日(土) 13:10～13:45

第1会場(4F マリンホール)

座長：外山 聡(新潟大学医歯学総合病院 薬剤部)

病院・診療所薬剤師の未来を拓く
—地域医療を支える薬剤師連携—

武田 泰生

一般社団法人 日本病院薬剤師会 会長

病院・診療所薬剤師の未来を拓く —地域医療を支える薬剤師連携—

武田 泰生

一般社団法人 日本病院薬剤師会 会長

少子高齢化社会における医療・介護の効果的な提供体制の構築に向けて、社会保障制度改革の柱としてスタートした地域医療構想は、地域の特性に合わせた「病院機能の分化と連携」「地域包括ケアシステムの構築」を両輪として、急ピッチで進められています。特に、地域住民の健康サポートや薬物治療における薬学的ケアは薬の専門家である薬剤師が担い、患者の薬物治療を適正に管理し、患者の転院・転所、在宅医療や外来診療等への移行に伴って、薬物治療管理を切れ目なくつなぐ役割を果たすことが求められています。

2020年に始まった「薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会」では薬剤師を取り巻く現状の課題について多くの議論が交わされ、幅広い職能・職域をもつ薬剤師の今後のあるべき姿が提言されました。なかでも病院薬剤師については、なかなか病棟配置が進まない回復期や地域包括ケア病棟を含む病院・診療所での薬剤師の病棟配置を進め、病棟薬剤業務の更なる充実、救急外来を含む外来診療への参画、医師の働き方改革の一環で進められているタスクシフト・シェアの積極的受入など、多方面にわたる業務拡大を期待されています。さらに地域完結型医療・介護提供体制の構築に向けた取組として、薬局を含む医療機能別施設間連携体制の構築が求められており、患者のためのシームレスな薬物治療管理を担うことが期待されています。薬剤師業務を充実させ医療の質向上に貢献するには、①業務の拡大と、②その業務をしっかりと遂行するための資質の向上、そして③業務展開するための適正数の薬剤師確保が必要であると考えます。

一方で、製薬企業数社における GMP 省令違反に端を発した後発医薬品流通問題は他社の医薬品提供体制にも影響を与え、コロナ禍における原薬輸入規制等と相まって、全国で多くの医薬品が不足するという大きな問題へと発展しました。これらを背景に、これからの地域医療において薬剤師に求められるのは、地域住民が安心して薬物治療を受けられる環境整備であると考えます。すなわち、必要な医薬品を不足なく提供できる体制の構築と安心安全で効果的かつ適正な薬物治療管理を切れ目なく提供できる体制の構築が必要です。これらの体制を構築するためには、病院薬剤師と薬局薬剤師の緊密な連携が必要であり、その情報の授受のためには病院・診療所施設における充実した病棟薬剤業務の展開が重要です。

日本病院薬剤師会(日病薬)では、これまでの医療の質の向上、医療安全への取組、専門性向上への取組を更に推進していくと共に、地域医療における切れ目のない薬物治療管理の体制整備と期待される業務やタスクシフト・シェアへの積極的な取組による薬剤師職能の拡大、薬剤師確保と偏在解消の効果的な方策の検討に向けて全力で取り組んでいきます。本講演では、病院薬剤師が抱える諸問題と地域医療に貢献する病院薬剤師の職能のあり方、そして日病薬の今後の取組等について、概要をご紹介します。

【略歴】

1987年	福岡大学大学院薬学研究所 博士課程 修了(薬学博士) 米国ワシントン大学 医学部 ポスドク研究員
1992年	慶應義塾大学医学部生理学教室 助手
1997年	東京都老人総合研究所 主任研究員
2003年	鹿児島大学医学部附属病院 助教授・副薬剤部長
2012年	鹿児島大学病院 教授・薬剤部長(2023年3月末退職)
2022年	一般社団法人 日本病院薬剤師会 会長
現在に至る	

一般演題要旨

[掲 示]

P26- ○○○ 2023年8月26日(土) 12:30～16:30

P27- ○○○ 2023年8月27日(日) 10:30～15:00

[示 説]

P26- ○○○ 2023年8月26日(土) 16:30～17:30

P27- ○○○ 2023年8月27日(日) 15:00～16:00

[会 場]

ポスター会場(1F 展示ホールB)

当センターにおける オピオイド製剤使用状況の変遷調査

○中山 季昭、松坂 和正、小林 穂香、大塚 公庸
埼玉県立がんセンター

【目的】近年、新たな成分や剤型のオピオイド製剤が上市されている。しかし、それらの薬剤の登場により実際のオピオイド処方がどのように変化したのかは明らかでなく、今後の疼痛治療のトレンドは不明である。そこで当センターにおけるオピオイド製剤使用状況の変遷を調査したので報告する。

【方法】2014～2023年の10年間、各年1月のオピオイド製剤処方患者数を処方薬剤毎に集計した。集計は電子カルテから後方視的に行った。同一薬剤であれば規格を問わず1名、2回/月以上の処方であっても1名として集計した。先発品、後発品は合算した。

【結果】オキシコドン製剤の使用患者数が減少し、フェンタニル貼付剤・パッカリ剤の使用患者も減少傾向が見られた。一方、ヒドロモルフォン製剤の使用患者は大幅に増加していた。なお、メサドン塩酸塩錠やモルヒネ塩酸塩内用液の使用量に大きな変化はなかった。

【考察】ヒドロモルフォンは、即放性製剤の効果の発現が早い、徐放性製剤は1日1回の服用で切れ目の痛みが生じにくい、注射製剤がありスイッチが容易、等の理由から当センターでは緩和ケア科/PCTが中心となり導入を推奨したことが、使用患者数が増えた要因と考えられた。一方、メサドン塩酸塩錠は難治性疼痛に対して一定の需要があることが変化の少ない理由と考えられた。なお、モルヒネ塩酸塩内用液は液剤が必要な患者に用いられていると推察していたが、オキシコドン内用液が上市、採用された後もその使用患者が減っていないことから、モルヒネという成分に一定の需要があると考えられた。

【結論】長らく疼痛コントロールの基本であったオキシコドン製剤はヒドロモルフォン製剤に置き換わってきており、今後はヒドロモルフォン製剤が主流となると考えられる。ただし、それに限定するのではなく、患者毎に適切なオピオイド製剤の選択ができる余地を残すことが必要である。

当院における院内製剤カプサイシンクリーム作成と 使用状況

○池田 美咲¹⁾、黒田 健吾¹⁾、安藤 咲貴¹⁾、強瀬 瑞生¹⁾、
山室 明子¹⁾、霞流 千佳子¹⁾、佐藤 大輔¹⁾、小山 智史²⁾、
加賀 麻弥²⁾、金 宗訓²⁾
1) 社会医療法人社団順江会 江東病院 薬剤部、
2) 社会医療法人社団順江会 江東病院 皮膚科

【はじめに】カプサイシンはトウガラシの辛味成分の1つで帯状疱疹後神経痛や慢性掻痒等に用いられ、海外ではZostrix-HP(0.075%)等の市販品がある。一方、日本におけるカプサイシン含有製剤は温湿布剤のみで軟膏やクリームとして販売されていない。今回院内製剤としてカプサイシンクリームを初めて作成した。

【目的】0.025%カプサイシンクリーム(1倍)^{*1}・0.25%カプサイシンクリーム(10倍)^{*2}・1.25%カプサイシンクリーム(50倍)^{*3}を作成し使用状況を調査

【方法】カプサイシン(試薬)を適量の無水エタノールで溶解し親水クリームと十分に練合し全量500gとする。

※1:カプサイシン0.125g ※2:カプサイシン1.25g ※3:カプサイシン6.25g
2022年7月～12月まで使用した患者に対して使用状況をカルテ調査した。

【結果】計17名に使用し、痛みが大きい患者に初回診察時に10倍と50倍のカプサイシンクリームを処方された患者は次回以降50倍のカプサイシンクリームが継続されたが、そうでない患者には10倍のカプサイシンクリームが継続された。17名の中で継続している患者5名・完治している患者1名・副作用による治療中止は5名・効果なしの患者2名・他院へ転院や受診せずの患者4名であった。

【考察・結論】試作品とし1倍のカプサイシンクリームを塗布してみたが、局所刺激等の反応は感じなかったが、10倍と50倍では局所刺激等の反応が現れた。カプサイシンクリームの副作用として強い皮膚刺激や塗布局所の灼熱感がある。当院におけるカプサイシンクリームの使用は、主に帯状疱疹後神経痛として自発痛の治療のため皮膚科で使用された。今後、透析患者への難治性掻痒に対しても処方提案していきたい。以上、院内製剤カプサイシンクリームは使用初期の皮膚局所への副作用出現を防止するために、使用上の注意について患者に十分に説明する必要があるが、慢性的疼痛に対して高い治療効果も期待できる。

院内調剤における腎機能低下に関する 疑義照会および情報源の調査

○緒方 翔子¹⁾、平田 一耕²⁾³⁾、舟越 亮寛³⁾⁴⁾

1)クオール株式会社、2)医療法人鉄蕉会 亀田クリニック 薬剤室、
3)医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 薬剤部、
4)医療法人鉄蕉会 医療管理本部 薬剤管理部

【目的】腎機能に応じた薬剤の適正使用を推進するために、薬剤師による疑義照会は重要である。亀田クリニックは院内調剤を行っており、薬剤師は電子カルテに記載されている情報と電子添文、ガイドライン、up to date、およびその他様々な情報源を用いて疑義照会を行っている。

腎機能障害に対する薬剤の適正使用にあたっては、電子添文で規定されているものと、様々な文献等で腎排泄に影響すると思われる疑義照会される事例があるため、その内訳を検討した。

【方法】対象は2014年1月から2022年12月までの亀田クリニック薬剤室における腎機能低下に関する疑義照会とした。

集計した腎機能低下に関する疑義照会を、薬剤ごとに分類した。さらに電子添文に基づいて行った疑義照会と、その他の文献等に基づいて行った疑義照会で分類し、割合を含めて調査した。

【結果】腎機能障害に対する疑義照会件数は1,616件であった。うち1,616件中864件(53%)は電子添文に基づく疑義照会であり、上位の薬剤はファモチジン、プレガバリン、ミロガバリンであった。1,616件中752件(47%)は電子添文以外の文献等に基づく疑義照会であり、上位の薬剤はアモキシシリン、セフェキシリン、レボフロキサシンであった。用いた情報源は、752件中CKD診療ガイドが392件(52%)、サンフォード感染症治療ガイドが314件(42%)、up to dateが46件(6%)であった。疑義照会された薬剤の割合は年次によって変動することが確認された。

【考察】腎機能障害に対する疑義照会は電子添文だけでなく、様々な文献を用いて実施されていることが明らかとなった。今後、調剤薬局、診療所および病院の薬剤師が疑義照会に用いる文献や論文、ガイドラインを共有し、薬物治療の標準化につなげる必要がある。

院外処方箋における疑義照会簡素化プロトコルの 遵守状況の調査と内容に関する検討

○山本 真史¹⁾、本石 寛行²⁾、高澤 涼子¹⁾、根岸 健一³⁾、
木村 直也²⁾

1)東京理科大学 薬学部 薬学科 高澤研究室、2)草加市立病院 薬剤部、
3)北里大学 薬学部 薬学科 地域医療薬学

【目的】草加市立病院では、院外処方箋における疑義照会簡素化に関する9項目のプロトコルの運用を2022年5月2日より近隣7薬局で開始した。プロトコル合意契約した7薬局のプロトコルの遵守状況について調査するとともに、プロトコルの内容について検討した。

【方法】調査期間は2022年1月～12月とした。院外薬局からの疑義問い合わせ記録、プロトコルに基づく変更および疑義照会を行った際の報告書を用いて、各薬局のプロトコルに基づく疑義照会の遵守率(報告書のうちプロトコルに該当する疑義照会の件数/プロトコルに基づく変更および疑義照会を行った際の報告書の件数)について、7薬局を調剤薬局4店舗と調剤併設型ドラッグストア3店舗で比較し、薬局間でも比較した。遵守率の月ごとの推移についても調査した。プロトコルの内容については、すべての疑義照会の内容が9項目のプロトコルに該当しているかを調査した。

【結果】調査期間における疑義問い合わせ記録は1,990件、報告書は1,404件だった。調剤薬局4店舗と調剤併設型ドラッグストア3店舗でプロトコルの遵守率について比較したところ94.1%と95.8%で差は見られず、薬局間でも大きな差は見られなかった。7薬局全体でのプロトコルの遵守率を月ごとに見たところ、プロトコルの運用を開始した5月94.2%から7月97.3%と上昇が見られたが、その後は12月91.7%と低下していく傾向が見られた。疑義照会の内容は、67.5%がプロトコルに該当していた。

【考察】プロトコルの遵守率については、薬局の店舗形態における差は認められなかったが、月日の経過とともに減少傾向にあることが示された。プロトコルの内容については現状の9項目のままで問題ないと考えられた。プロトコルを適切に運用していくためには、薬局に対してプロトコルについて定期的に啓蒙していくことが重要であると考えられる。

日本病院薬剤師会関東ブロック 第53回学術大会
講演要旨集

2023年7月発行

事務局：一般社団法人 新潟県病院薬剤師会
〒951-8520 新潟県新潟市中央区旭町通1番町754
(新潟大学医歯学総合病院 薬剤部内)
事務局／島田 泉
TEL：025-227-2791(直通) FAX：025-227-2791

運営事務局：株式会社シンセンメディカルコミュニケーションズ内
〒950-0983 新潟市中央区神道寺1-6-14
TEL：025-278-7232 FAX：025-278-7285
E-mail：kanburo53@shinsen-mc.co.jp

出版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<https://secand.jp/>